

千葉県営水道事業の現況

平成18年6月

千葉県水道局

目 次

1	事業の概要		
	(1) 給水状況	-----	1
	(2) 事業状況	-----	2
	(3) 経営状況	-----	2
2	組 織		
	(1) 組織図	-----	3
	(2) 組織の再編等	-----	3
3	「事業計画(H13年度～H17年度)」の実施状況		
	(1) 主な事業の達成状況	-----	4
	(2) 財政収支状況	-----	5

1 事業の概要

(1) 給水状況

- 給水区域は11市2村にまたがり、その面積は、約566km²（県面積の約11%）に及んでいる。
[
 - 千葉市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、市原市、鎌ヶ谷市
 - 浦安市、成田市、印西市、白井市、本埜村、印旛村]
- 給水人口は、279万1,278人（平成16年度末）で全国第3位（県全体の50%）となっている。（平成17年度末見込みで約281万人）
- 給水戸数は、122万8,852戸（平成16年度末）
 （平成17年度末見込みで約125万戸）
- 普及率は、95.6%（平成16年度末）で、全国平均96.9%（千葉県93.2%）より下回っている。（平成17年度末見込みで95.7%）
- 年間給水量は、3億2,928万m³（平成16年度末）で全国第5位（県全体の50%）となっている。（平成17年度末見込みで約3億2,900万m³）
- 一日最大給水量は、102万7,933m³（平成16年度末）で全国第6位で、一日平均給水量は、90万2,154m³となっている。
 （平成17年度末見込み一日最大102万9,800m³、一日平均90万1,300m³）
- 施設能力 122万1,200m³（全国第6位）

浄水場名	施設能力 (m ³)
古ヶ崎浄水場	60,000
栗山浄水場	186,000
柏井浄水場	530,000
北総浄水場	126,700
福増浄水場	90,000
北千葉広域水道企業団（受水）	168,500
君津広域水道企業団（受水）	60,000
地下水系	(51,000)
計	1,221,200

※地下水系は予備水源であり施設能力の計から除いてある。

○ 水利権の状況

平成17年度計画水利権10,279m³/秒(日量106万7千m³)のうち17%に相当する2,186m³/秒(日量17万6千m³)が暫定水利権であることから、水源の安定化を図るため、湯西川ダム・八ツ場ダム建設に参画している。

水系等		取水場	浄水場	水源	水利権(日量m ³)
表 流 水	江戸川	樋野口	古ヶ崎	江戸川自流	20,900
				農業用水合理化	37,800
	利根川	印旛	柏井(東)	利根川河口堰	170,000
				木下	柏井(西)
	養老川	高滝	福増	高滝ダム	90,000
				北総	利根川河口堰 川治ダム 奈良俣ダム
	地下水		千葉分場他		—
受 水	北千葉広域水道企業団			168,500	
	君津広域水道企業団			60,000	
計					1,067,000

※ 斜体は、暫定水利権で得ている水量である。

(2) 事業状況(平成16年度末)

(平成17年度末見込み)

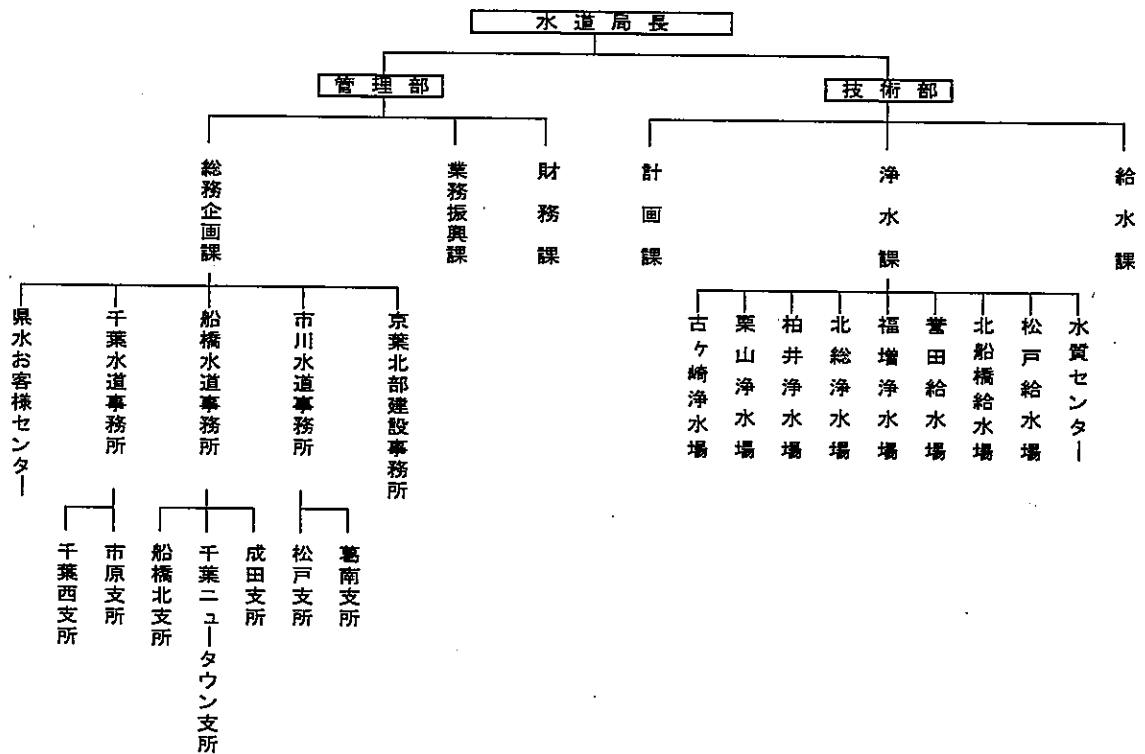
○ 供給単価(販売単価)	211.81円/m ³	(約210円/m ³)
○ 給水原価(製造原価)	204.72円/m ³	(約209円/m ³)
○ 最大稼働率	84.2%	(約84.3%)
○ 負荷率	87.8%	(約87.5%)
○ 有収率	92.8%	(約92.6%)

(3) 経営状況(平成16年度末)

○ 職員一人当たり営業収益	68,269千円	(約70,700千円)
○ 職員一人当たり給水人口	2,831人	(約3,000人)
○ 総収支比率	112.6%	(約115%)
○ 営業収支比率	122.7%	(約118%)
○ 自己資本構成比率	62.6%	(約65%)

2 組織

(1) 組織図 (平成18年4月1日現在)



(2) 組織の再編等

平成18年4月1日現在の職員数は、事務職員316名、技術職員758名の計1074名となっております。

○ 組織の再編

- ・ 平成15年度 2部8課23出先機関から2部6課21出先機関に再編
- ・ 平成16年度 2部6課21出先機関から2部6課14出先機関に再編

○ 業務の集約化・効率化

- ・ 平成16年8月2日 県水お客様センターを設置

水道事務所や支所で行っていた給水申込みなどの受付業務を集約し事務の効率化を図るとともに、お客様の利便性の向上を目的に、総合受付サービス窓口として設置した。

平成17年度の電話受付は389千件、書類受付281千件、合計670千件の受付業務を行っており、電話受付の約8割は県水お客様センター内で手続きが完結おり、お客様のサービスの向上や事務の効率化が図られている。

3 「事業計画（平成13年度～平成17年度）」の実施状況

(1) 主な事業の達成状況

ア 安定給水の確保

- 参画しているダム事業の進捗率は、全体工事費（公共事業）に対し平成17年度末で湯西川ダム約40%、八ッ場ダム約48%と、計画どおり推移している。
- 浄・給水場設備更新は、計画どおり実施されている。また、送配水管整備は外環道や千葉NT事業の影響により計画を下回っているが、他の事業は、ほぼ計画どおり実施されている。
- 鉛給水管更新は、平成16年度から集中的に工事を実施した結果、計画を上回って更新が行われ、平成17年度末の残存数は14万8千本となった。

イ 安全で良質な水の供給

- 福増浄水場の活性炭吸着池を生物活性炭吸着池に改良する工事は、平成13年度に計画どおり完成した。以降、維持管理費の削減が図れている。
- また、（仮称）江戸川浄水場の高度浄水施設も平成19年度稼働に向けて、計画どおり推移している。

ウ 緊急時対策の推進

- 石綿セメント管の更新は、平成17年度末までに2,323km完了し、残存している18kmについては、今後、道路整備など他事業の実施に併せて、できる限り早期に布設替えする予定。
- 施設の耐震化は計画どおり実施されており、浄・給水場等の基幹施設の耐震化は、91%（H15年度全国平均23%）、基幹管路の耐震化は、30%（H15年度全国平均13%）となっている。

エ 需要者サービスの向上と経営の改善

- 未普及地区の配水管整備は、計画115kmに対し116kmの布設を行っている。この結果、水道水を利用できる方が平成12年の269万人から平成17年末には281万人に増加している。

(3) 財政収支状況

(単位：億円)

ア 収益的収支

区 分	平成13年度 (決算)	平成14年度 (決算)	平成15年度 (決算)	平成16年度 (決算)	平成17年度 (決算見込)	計
水道事業収益 (料金・給水申込納付金等)	736	736	740	733	759	3,704
水道事業費用 (経営費・減価償却費等)	726	706	659	651	659	3,401
純利益	10	30	81	82	100	303

イ 資本的収支

(単位：億円)

区 分	平成13年度 (決算)	平成14年度 (決算)	平成15年度 (決算)	平成16年度 (決算)	平成17年度 (決算見込)	計
資本的収入 (企業債・国庫補助金等)	193	181	170	542	403	1,489
資本的支出 (建設改良費、企業債償還金)	418	408	407	677	866	2,776
収入－支出	▲225	▲227	▲237	▲135	▲463	▲1,287

※ 資本的収支差は、減価償却費等の内部留保金及び消費税資本的調整額等により補てんを行っている。

(単位：億円)

資金残高	140	159	217	366	227	
企業債残高	2,551	2,519	2,485	2,411	2,393	

千葉県営水道概要図

